

速報

体験林業

『大山のブナの苗木を皆の手で育てよう』



主催：大山横手道上ブナを育成する会

技術指導：鳥取森林管理署

特別支援：みんなで森を守ろう！

山陰ネットワーク会議

みんなで森を守ろう！

連合 愛のカンパ

後援：

伯耆町

11月14日(日)、伯耆町丸山ガーデンプレイス上の広場で、県内外から集まった83人の参加者が、5～15cm位に成長したブナの稚魚を2400本移植しました。ここで5年間かけて1.5mまで育てます。今まで苗床の土が悪いのと今年の猛暑の試練に会い、8,000本誕生したものが2,400本までに減少し、しかも生育もかわいそうなぐらい貧弱です。今回の移植に際して、伯耆町の計らいで、良質の黒ボクを4トンダンプ10台入れて土壌改良をしました。また、苗床作り、苗採取の準備作業を入念に行い、丸々2日間かかりました。これでブナが来春から元気良く成長してくれるでしょう。関係した皆さん ご苦労さまでした。これからもブナを見守っってください。



準備作業

今回は人手が少なく、特定の人に連日頑張ってもらいました。

